

幼保無償化について

市民派クラブ
田村 正秋 議員



▲くるみるふっさの「たっ☆クルポート」

質問 幼児教育・保育無償化について、政府は、消費税率が10%に引き上げられる2019年10月からの実施を目指すとしているが、本市の現時点での対応や今後の取り組み状況について伺う。

市長 国からは制度の概要が示されたが、具体的な内容などの詳細はまだまだ明らかにされていない。そのため、現在は、国の検討状況等を踏

まえながら、関係各課や近隣自治体と情報共有を図り、課題の集約を行っている状況である。

福生市サイクルシェアリング事業について

質問 サイクルシェアリングは、コストが安い、交通事情の影響を受けにくい、健康増進に寄与する等の利点があるが、本市の現状と今後の対策や課題について伺う。

市長 現在、本市では35台の電動アシスト自転車を市内5つのステーションに配備している。随時、バッテリーの交換やメンテナンスをしており、今年度は、磨耗、劣化等が進んでいるタイヤの交換を行っている。今後は、老朽化による入れかえや、他の自治体との広域連携を見据え、汎用性、拡張性、利便性のあるシステムの導入を検討する必要がある。

福生ふれあいフェスティバルの経緯について

正和会
串田 金八 議員



▲福生ふれあいフェスティバルの様子

質問 ふっさ健康まつり、産業祭、福生市民文化祭を同じ時期に開催している経緯を伺う。

市長 健康まつりは平成2年度に市制施行20周年記念事業として始まり、産業祭は平成3年度に商工会創立30周年記念事業として始まったが、この2つのイベントをより多くの方が楽しめるよう、平成3年度より、市民文化祭の日程に合わせて開催す

ることとした。この3つのイベントを総称して、福生ふれあいフェスティバルと呼んでいる。

福生ふれあいフェスティバルの内容について

質問 内容についても伺う。
市長 健康まつりは、ヘルスチェックや栄養相談のほか、脳トレや体力測定などを実施し、健康についての情報提供や健康づくりに関する普

及啓発を行っている。産業祭は、市内事業所の商品等の展示販売、溶接やものづくり体験、地場産野菜の直売などを行い、生産性の向上及び経済活動の振興を図っている。

教育長 市民文化祭は、文化活動の成果を発表する機会であり、新舞踊、民謡、日本舞踊、コーラス等の演示部門と、書道、絵画、華道、美術工芸等の展示部門がある。

教職員の長時間労働を生み出した根本原因は

日本共産党
池田 公三 議員



質問 現状の長時間労働の根本原因は、教員定数を増やすことなく、学校週5日制に移行したことによる教員の受け持ち授業時数の増加、多様な業務の増加、残業代ゼロによる長時間労働の助長等が考えられるが、所見を伺う。

教育長 国の中央教育審議会答申等を参考にした私見であるが、そのことに対して、市教育委員会として

答弁を申し上げる立場にはないと考える。公教育は国の法令や通知等に従って適正かつ公正に行うものである。学校と協働し、公教育の責任と使命を果たしていく。

学校給食法が食材費の自治体負担を禁止していないことについて

質問 市教育委員会は、学校給食費の無償化を行わない理由の一つとして学校給食法第11条を挙げている

が、これは負担割合を示したにすぎず、自治体が負担すること自体は禁止していないのではないかと。

教育長 同条第2項は、学校給食の食材費を保護者の負担と規定しているが、自治体が負担や補助を行うことを禁止する規定ではなく、自治体が政策として規定整備や予算計上を行い、議会の議決を得て実施できるものと解釈している。

学区について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲福生市公共施設マネジメント庁内検討委員会実務担当部会の様子

質問 福生第二中学校区の小学校区について、近くの学校に安全に通学させたいと願う保護者から、学区の変更の相談や通学の苦労話を聞く機会があるが、この地域における学区の再編について伺う。

教育長 この学区の問題については、通学距離に関する相談や、子どもの登下校時の安全を心配する相談が多く寄せられるが、丁寧に説明し、

理解が得られるよう努めている。学区の再編については、多様な問題を整理し、諸計画の推進と並行して進めなければならない。

学校を核とした公共施設の複合化・集約化について

質問 福生市公共施設等総合管理計画では、地域会館や図書館、児童館、学童クラブと学校との複合化の検討に触れている。学校は、地域コ

ミュニティーの核として期待されるが、学校を核とした公共施設の複合化、集約化について伺う。

市長 市の中心拠点と各学区エリアそれぞれに求められる施設、機能について検討、各学校区の中の施設の配置の見直しを考えているほか、学校の改築の機会に、学校敷地内や隣接地に公共施設、機能の複合化、集約化を図ることも検討していく。

J R 八高線の教会踏切について

公明党
原田 剛 議員



▲第一中学校東側のJR八高線教会踏切

質問 福生第一中学校東側のJR八高線教会踏切は狭隘で、車両のすれ違いが困難なため、対向車の通過待ちの必要があるなどボトルネックとなっている。この状況について市の認識を伺う。

市長 教会踏切については、踏切の改善や道路拡幅等の交通安全対策が必要な箇所と認識している。踏切の東側については、土地所有者から

の用地買収の協力が得られ、踏切西側については、現在、用地交渉に取り組んでいる。

マイクロプラスチックとプラスチックごみについて

質問 海のごみの一つであるマイクロプラスチックと呼ばれる直径5ミリメートル以下の小さなプラスチックごみを、魚などが食べて生態系のバランスが崩れるとも言われてい

るが、プラスチックごみ減量に向けた市の所見を伺う。

市長 市では、不法投棄や不適切な排出につながらないよう、今後も継続してプラスチック等の適切な分別排出の指導及び適切な処理を行っていきたいと考えている。また、プラスチックごみの削減として、レジ袋の抑制となるマイバッグ活用推進を行っていく。